

株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日～12月31日
- 定時株主総会 毎年3月
- 株主名簿管理人
■ 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先 0120-232-711 (通話料無料)
各種用紙のご請求 0120-244-479 (通話料無料)
- 公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページ (<http://www.world-hd.co.jp>) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

JOB PAPER

えらべる! みつかる! 工場系求人ジョブペーパー

JOB PAPER <http://www.jobpaper.net/>




ホームページ



<http://www.world-hd.co.jp>

 **WORLD HOLDINGS**

福岡本社: 福岡県福岡市博多区博多駅前二丁目1番1号 福岡朝日ビル 6F
Tel.092(474)0555 Fax.092(474)0777
北九州本社: 福岡県北九州市小倉北区大手町11番2号 2F
Tel.093(581)0540 Fax.093(581)0542

 **ワールドホールディングス**



株主の皆様へ

第22期 中間株主通信

2014年1月1日～2014年6月30日

トップインタビュー
持株会社体制による
新たな成長に向けて

特集
グループ企業紹介



この度「株式会社ワールドインテック」は、7月1日より「株式会社ワールドホールディングス」へ商号変更し、持株会社体制に移行いたしました。これもひとえに皆様のご支援の賜物であると深く感謝いたします。

当社は2012年に「新・中期経営計画」を掲げ、その目標の実現に向け、事業を通じ様々な「人が活きるカタチ」を創造し成長基盤の強化を図ってまいりました。

あわせて、基幹事業である「人材・教育ビジネス」を中心に「不動産ビジネス」「情報通信ビジネス」の3つのコアビジネスでしっかりと地に足を付け、経済状況や社会情勢に揺るぐことのない体制を整えております。

今後、当社が取り組むビジネスフィールドでは、政府の経済政策による様々な市場の変化が予想されます。その中で、マーケットが何を求めているのかを確実につかみ、いかに早く当社のサービスを提供するかが重要なポイントであり、それができた時に当社は明

確なトッププレーヤーになると信じております。

そのためにも、時代に合わせた事業を様々な形に進化させることのできる人材を育成・教育していくことは私たちの使命であると考えております。

おかげさまで当社は昨年、創業20周年を迎えることができました。

“今までの20年”から“これからの20年”に向けて、成長分野への経営資源の投入やシナジーを追求し、3つのコアビジネスをさらに成長させ、より強固な事業基盤を構築し事業スピードを加速させてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も「事業を通じて、世界の人と文化に貢献する」という基本理念のもと、「人が活きるカタチ」を創造するという社会的使命に取り組むワールドホールディングスにご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉

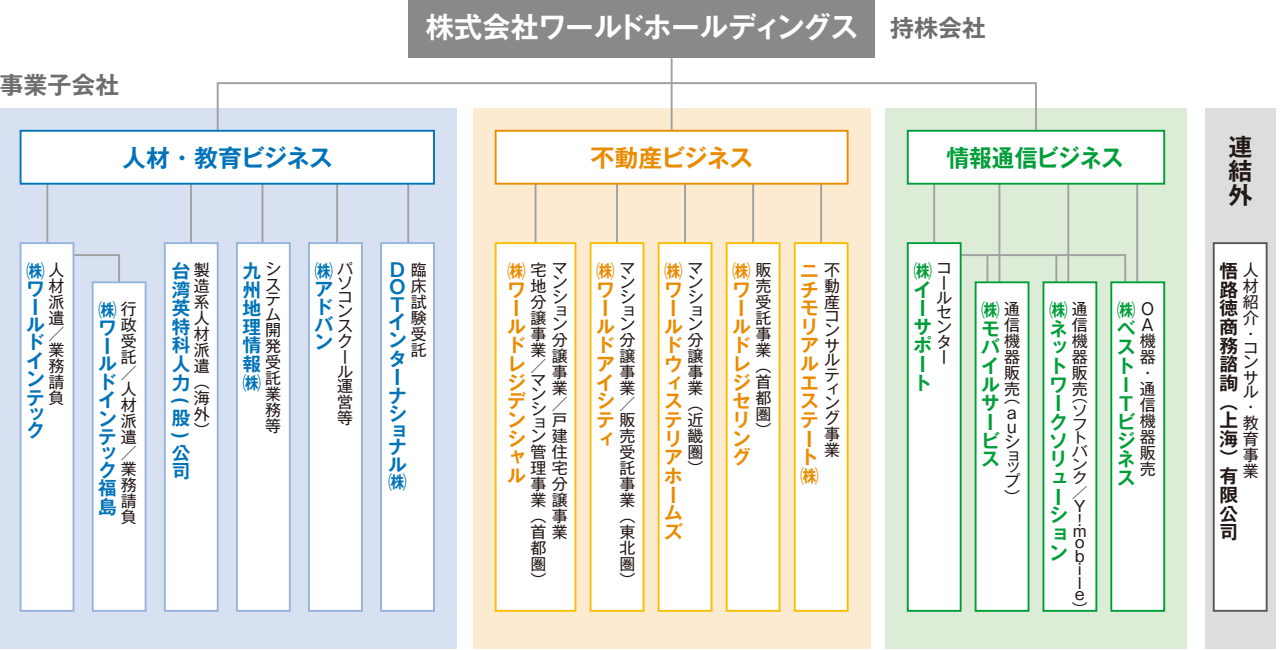
2014年7月1日、「株式会社ワールドインテック」は「株式会社ワールドホールディングス」となりました。

当社は7月1日付で「株式会社ワールドホールディングス」に商号変更し、持株会社体制に移行いたしました。

当社は、持株会社として、今後も3つのコアビジネスのさらなる成長を図るとともに、新たな事業領域への参入にもチャレンジしてまいります。



ワールドホールディングス体制図



トップインタビュー

持株会社体制による新たな成長に向けて

Q1 この度の持株会社化について、改めてその目的、意義をお話してください。

各事業のスピード化と事業全体の拡大を目指しています。当社は、グループ全体の人事や財務とともに、新規事業の企画・開発などを担っていきます。

権限の委譲による既存の3ビジネスそれぞれの経営判断の「スピード化」が第一の目的です。同時に、現在の「人材・教育」「不動産」「情報通信」というビジネスからなる3本の柱を、今後は4本、5本へと増やしていきたいと思えます。そのために、持株会社化はベストの手段だと考えています。例えば、人材ビジネス以外の教育分野への進出や、R&D事業のDOTインターナショナル株式会社の隣接分野である医療・介護分野への事業展開など、市場や社会が質の高いサービスを求めている分野への参入も検討しています。また、海外事業の展開にも、持株会社は最も適切であると考えています。

各事業は子会社である事業会社に任せ、当社は純粋持株会社に近い存在と位置づけています。当社はグループ全体の人事や財務を担当するほか、新規事業を企画・開発し、事業会社として立ち上げます。各事業と持株会社での業務を兼務している者もいますが、新しく加わったメンバーも増えており、人材に厚みが増してきました。

Q2 2014年12月期第2四半期累計期間の業績を経営トップとしてどのように評価しておられますか？事業環境も含めてお話しください。

3つのコアビジネスのすべてにおいて順調に推移しています。

人材・教育ビジネスにおける主力のファクトリー事業は順調に推移していますが、労働者不足という状況の中で、「採用力の強化」が課題となっています。テクノ事業では、半導体業界向けなどファクトリー事業からの技術者の移管による両事業の立て直しが完了しました。R&D事業では、在籍数がDOT買収時から増えて業界トップになっており、今後は新しい



ビジネスモデル構築に取り組んでいきます。そのほか、コールセンターや物流事業でも業績が順調に伸びています。不動産ビジネスでは、市場環境の先読みが重要なこの業界で、用地取得、企画売却等を戦略的にかつ柔軟に行えたことが良い結果となり、業績は順調に推移しています。情報通信ビジネスでは、携帯電話・スマートフォンの販売がやや低下していますが、取扱商品を拡充するとともに、事業エリアを九州から沖縄まで拡大しました。また、法人部門が業績を伸ばしています。

Q3 中期経営計画の進捗状況についてお聞かせください。また、今後の経営方針についてもお話しください。

2016年12月期の連結売上高1,000億円という目標達成とともに、各事業の質の向上に取り組んでいきます。また、バランスの取れた事業運営に注力していきます。

ワールドホールディングスは現在、中期経営計画の折り返し地点に差し掛かっています。2016年12月期の連結売上高1,000億円という目標の達成とともに、各事業の質の向上という課題に取り組んでいます。人材・教育ビジネスでは、リーマンショック後の景気後退により主力のファクトリー事業が大きな影響を受けましたが、現在では回復しています。この間、不動産ビジネスと情報通信ビジネスがグルー

プを支えてきました。そして現在は、3つのビジネスすべてが好調です。各事業が強くなってきており、今期は順調に推移することを見込んでいます。

ワールドホールディングスは、「選択と集中」しすぎないことを心がけています。グループ全体で3つ、今後はそれ以上の柱を持つこと、また各ビジネスの中に基幹事業を持ちながら、環境変化に対応できる「バランスの取れた事業運営」に注力しています。当社はこれまで、単なる売上拡大のためのM&Aは行っておらず、この方針は今後も変わりません。売上目標の達成とともに、各事業で「質の向上」という課題に取り組みながら、新規事業の立ち上げにも力を注いでまいります。

Q4 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

今後も株主の皆様への利益還元に努め、関係先の皆様と日本社会に貢献していきたいと考えております。以上のような経営方針をご理解いただき、今後も永い目でワールドホールディングスの成長を見守っていただければ幸いです。

グループ企業紹介

グループ各社の概要とリーダーをご紹介します。

当社は現在、「人材・教育ビジネス」「不動産ビジネス」「情報通信ビジネス」に携わる以下の連結子会社15社が傘下にあり、各社がその事業分野でさらなる成長をとげることで、グループ全体の成長を図っています。



人材・教育ビジネス



WORLD INTEC
WORLD HOLDINGS
(株)ワールドインテック

働くことに新しいカタチを与え、世界に開かれた“絆”をつくる

人材ビジネスで最も大切な資産は人だという信念のもと、働くことに新しいカタチを提供します。



代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉

WORLD INTEC FUKUSHIMA
WORLD HOLDINGS
(株)ワールドインテック福島

台湾英特科人力
WORLD HOLDINGS
台湾英特科人力(股)公司

九州地理情報株式会社
九州地理情報(株)

株式会社 アドバン
Advant
(株)アドバン

DOT INTERNATIONAL
DOTインターナショナル(株)

不動産ビジネス



WORLD RESIDENTIAL
WORLD HOLDINGS
(株)ワールドレジデンシャル

人と文化が集うまちづくりによって地域に貢献する
環境に配慮した社会に貢献できるまちづくりを目指しています。



代表取締役 高井 裕二

WORLD iCITY
WORLD HOLDINGS
(株)ワールドアイシティ

WORLD WISTERIA HOMES
WORLD HOLDINGS
(株)ワールドウিসテリアホームズ

WORLD RESISELLING
WORLD HOLDINGS
(株)ワールドレジセリング

ニチモリアルエステート
WORLD HOLDINGS
ニチモリアルエステート(株)

情報通信ビジネス



e-support
(株)イーサポート

ITで新しいコミュニケーション価値を創造する
今やコミュニケーション手段の主流となったIT分野で、未来社会の創造に寄与してまいります。



代表取締役 大坪 義和

Mobile Service
(株)モバイルサービス

NETWORK SOLUTION
(株)ネットワークソリューション

ベストITビジネス
(株)ベストITビジネス

セグメント別の事業報告

ワールドホールディングスは、2014年7月1日をもって持株会社体制への移行により組織体制を整備したことに伴う、当第2四半期連結累計期間からの報告セグメントの区分方法を変更しました。事業内容の類似性及び関連性の観点からセグメント区分を見直し、従来「その他」に区分していた一部の事業を「ファクトリー事業」及び「テクノ事業」に変更しました。

売上高 312百万円 減収

その他

セグメント利益 20百万円 減益

DTP・WEB・CAD・パソコンスクール等の教育事業を行う株アドバンは、教育事業やソフトウェア販売が順調に伸長。また、国内外の半導体工場向け部品・部材調達事業や行政受託事業についても概ね順調に推移しました。

売上高 7,391百万円 増収

情報通信事業

セグメント利益 235百万円 減益

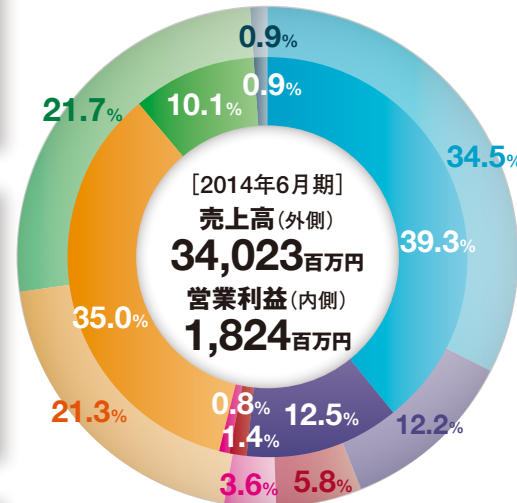
スマートフォンが国内の携帯電話の契約数の約半数を占め、顧客獲得競争が激しさを増す中、携帯関連商品の販売にも注力し、売上拡大に努めました。

売上高 7,252百万円 増収

不動産事業

セグメント利益 815百万円 増益

首都圏マンション市場の当第2四半期連結累計期間における初月平均契約率は78.4%と堅調に推移。仙台エリアでは、6月末時点での新規供給を含めた契約率が65%、供給済在庫数が32戸となるなど、底堅く推移。こうした環境の中、不動産ビジネスは事業採算性を考慮した仕入活動により、首都圏で6物件、東北圏で1物件の用地仕入を実施。営業活動では、効率性を重視した早期の新築マンション販売と、これに伴い販売費の削減及び宅地等の不動産販売が業績に寄与しました。



売上高 1,212百万円 増収

セールス&マーケティング事業

セグメント利益 19百万円 減益

ブランドショップ、アパレル等への販売員の一般派遣を行うCB事業は、新規顧客獲得に努めた結果、売上・利益は堅調に推移。前期に立ち上げたコールセンター事業者向けオペレータ派遣を行うOCS事業は、事業基盤の拡大に取り組み、拠点数は6拠点となりました。

売上高 11,744百万円 増収

ファクトリー事業

セグメント利益 915百万円 増益

機械分野及び物流の新規大型案件等が、順調に収益に寄与し、前期から好調な液晶やスマートフォン関連の電気電子分野や物流分野ではさらなる拡大基調が継続。行政関連事業を受託する株ワールドインテック福島では、福島県緊急雇用創出事業として、「絆づくり応援事業」、「成長産業等人材バンク事業」及び「働く人づくり応援事業」も堅調に推移しました。

売上高 4,149百万円 増収

テクノ事業

セグメント利益 291百万円 増益

設計開発分野において、情報サービス関連、半導体関連を中心に受注を獲得し、安定した稼働率を確保。生産技術分野では、情報サービス関連の持ち直しへの対応をとりながら、より生産性の高い分野へ人員をシフトするなどの構造改革を図る。また、チャージアップ交渉を積極的に行い、原価率改善に努めました。

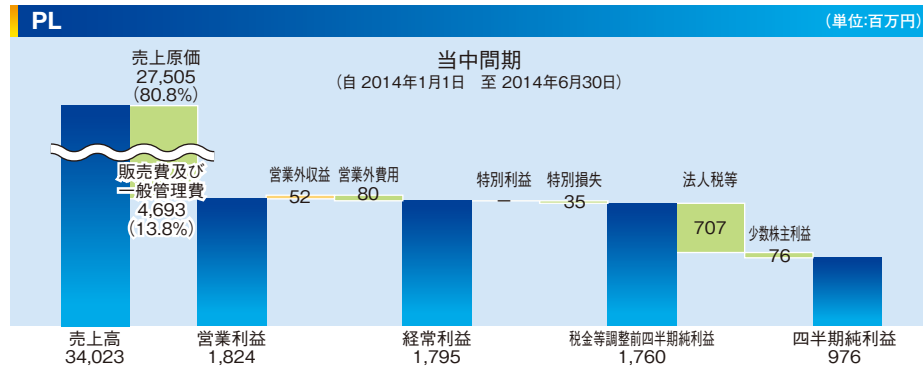
売上高 1,960百万円 増収

R&D事業

セグメント利益 32百万円 減益

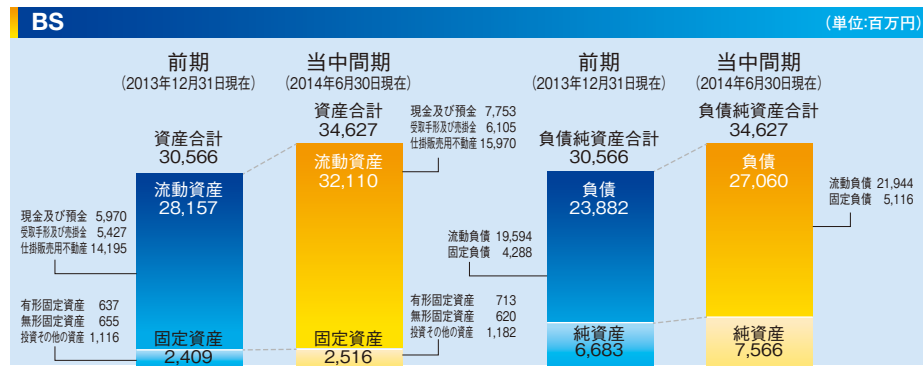
臨床試験受託事業のDOTインターナショナル(株)と連携して、成長分野である再生医療分野等への営業に注力し、臨床試験受託事業領域だけでなく、派遣事業領域における製薬メーカーのクライアントの相互共同営業を積極的に推進。また、臨床試験受託事業における人材育成の先行投資を積極的に行い、人員の採用についてシナジー効果を発揮しました。

連結決算情報



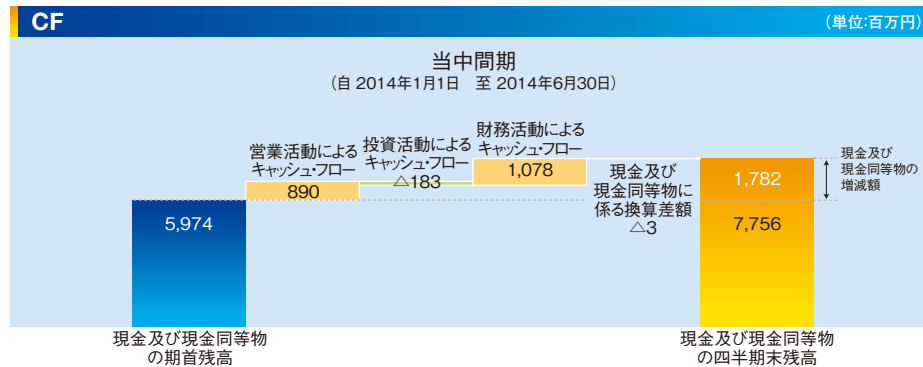
POINT

増収の主な要因は、ファクトリー事業における機械・物流分野の新規大型案件や、電気電子や自動車部品における前期からの拡大基調のほか、不動産事業の好調によるものです。また、増益の最大の要因は、ファクトリー事業における事業管理の徹底と、不動産事業における企画売却などの柔軟な対応によるものです。



POINT

純資産合計は、前期末比883百万円増加しており、これは主に利益剰余金の増加額807百万円等によります。負債合計は、前期末比3,177百万円増加しており、これは主に不動産事業未払金の増加額、短期借入金の増加額、長期借入金の増加額によるものです。



POINT

営業活動によるキャッシュ・フローの主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益1,760百万円に加えて、仕入債務の増加、未払費用の増加等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローの主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローの主なプラス要因は、短期借入金の純増加、長期借入れによる収入によるものです。

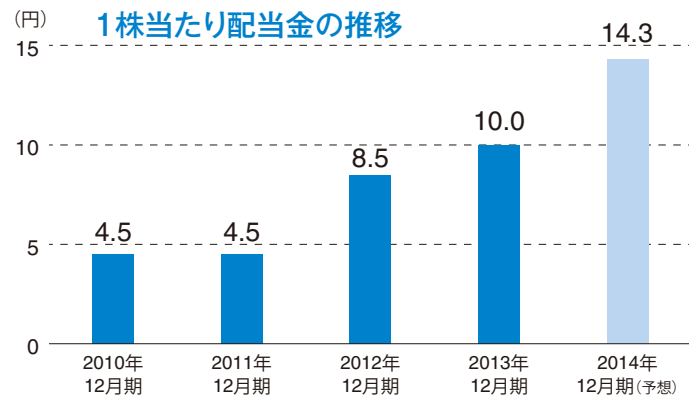
※営業利益の構成比は、セグメント間消去・全社費用を控除する前のベースである2,329百万円を100として算出しております。

IR 伝言板

利益還元の方針について

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた利益還元を行うことを基本方針としており、年間の配当性向として20%以上を目標としています。

2014年12月期につきましては、期末配当14.3円を予想しています。



注：当社は中間配当と期末配当の年2回の配当を行うことを基本方針としておりますが、記載の年度については、中間配当は実施しておりません。

個人投資家説明会を実施しています。

当社は、より多くの個人投資家の皆様に、当社についてご理解を深め、当社株式を保有していただくため、個人投資家説明会を実施しています。

以下は、2014年9月開催の説明会概要です。

エリア	福岡	千葉	大阪	東京
日時	9月5日(金) 13:00-14:00	9月9日(火) 13:00-14:00	9月12日(金) 14:15-14:55	9月25日(木) 14:15-15:15
会場	天神NKビル 会議室	オークラ千葉 ホテル	本町ガーデン シティ	日本投資環境 研究所
参加予定人数	50名	100名	100名	100名



会社概要 / 株式の状況

2014年7月1日現在

会社概要

- 社名 株式会社ワールドホールディングス
- 設立 1993年2月12日
- 資本金 701百万円
- 代表者 代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉
- 従業員数 10,389名(連結)
- 所在地 【福岡本社】 〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前二丁目1番1号 福岡朝日ビル 6F
TEL. 092(474)0555 FAX. 092(474)0777
【北九州本社】 〒803-0814
福岡県北九州市小倉北区大手町11番2号 2F
TEL. 093(581)0540 FAX. 093(581)0542
【東京本部】 〒103-0022
東京都中央区日本橋室町3-1-8日本橋都ビル 3F
TEL. 03(6895)0105 FAX. 03(6880)2077

■ 事業内容

- 人材・教育ビジネス ○不動産ビジネス ○情報通信ビジネス

■ 役員

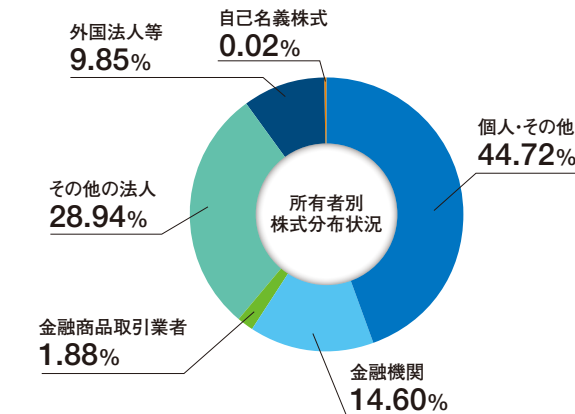
代表取締役会長兼社長	伊井田 栄吉	取締役	三舛 善彦
取締役	菅野 利彦	取締役	高井 裕二
取締役	岩崎 亨	監査役	鈴木 照美
取締役	本多 信二	監査役	古賀 光雄
取締役	伊藤 修三	監査役	加藤 哲夫
取締役	中野 繁		

拠 点

- 株式会社ワールドホールディングス及び関連会社一覧
- 関連会社
 - (株)ワールドインテック、(株)ワールドインテック福島、台湾英特科人力(股)公司、九州地理情報(株)、(株)アドバン、DOTインターナショナル(株)、悟路徳商務諮詢(上海)有限公司
 - (株)ワールドレジデンシャル、(株)ワールドアイシティ、(株)ワールドヴィステリアホームズ、(株)ワールドレジセリング、ニチモリアルエステート(株)
 - (株)イーサポート、(株)モバイルサービス、(株)ネットワークソリューション、(株)ベストITビジネス



株式の状況



- 発行可能株式総数 54,000,000株
- 発行済株式の総数 16,831,500株
- 株主数 1,928名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率*
IIDA総研株式会社	4,500,000	26.73%
伊井田栄吉	3,361,500	19.97%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	739,700	4.39%
株式会社北九州銀行	709,200	4.21%
安部南鏡	635,200	3.77%
折戸哲也	603,550	3.58%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS 常任代理人 香港上海銀行東京支店	530,000	3.14%
ゴールドマンサックスインターナショナル 常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社	438,100	2.60%
株式会社西日本シティ銀行	300,000	1.78%
資産管理サービス信託銀行株式会社	285,200	1.69%

*持株比率は、自己株式(2,823株)を控除しております。